

# 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年3月29日

事業所名：児童発達支援事業所 クローバー学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		子どもが安心して活動できるように利用定員を考えています。	
	2	職員の配置数は適当であるか	○		活動内容に合わせてスタッフの配置数を調節しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		自分の持ち物、おもちゃや教材など場所が理解しやすいように、写真やシール、マーク、音楽を使い視覚や聴覚から理解しやすいように工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		今年度はコロナウイルスの為、空気清浄器や空間除菌脱臭機を導入しました。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		適切な支援を行うために出来る限りスタッフ同士で話し合いをもち共通理解をするようにしています。	
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の以降等を把握し、業務改善につなげているか	○		定期的に懇談を行ったり年度末には保護者にアンケートをとり支援の改善につなげています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		桜井市社会福祉協議会のホームページにて掲載しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		今年度はコロナウイルスのため、参加することが難しく、研修の機会を確保できませんでした。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		○		定期的に行われる懇談以外でも、連絡ファイルや送迎時に子どもの様子をできるだけ伝え合うようにし、子どもや保護者のニーズにあった支援を行えるように努めています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		個人の特性に応じた支援内容になるよう心がけています。ガイドラインの視点を取り入れつつさらに適切な支援内容になるように努めます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		○		随時支援内容を確認し児童発達支援計画にそった支援がおこなわれるように努めています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		職員間で課題を確認、共有しながら年齢や個々のニーズにあった活動プログラムを立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		職員の役割分担を変えることで活動プログラムが固定化しないように工夫し職員間でプログラムの検討・改善を行うようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		○		子どもの活動が豊かに展開されるように年齢や子どもの状況に合わせて個別活動や集団活動を組み合わせて支援計画を作成しています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援前には職員間で打ち合わせをし、確認を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後はその日気づいたことを話し合い情報を共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援の様子は行動記録として記入し、支援の検証、改善につなげるようにしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		随時職員間で、子どもの様子や発達に合わせた支援の方向性について確認し、見直しを行っています。	6か月ごとにモニタリング（個別懇談）を行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者と	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		今年度はコロナウイルスため実施がありませんでした。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		コロナ禍でむずかしい時もあるが、市の子育て支援課の必要に応じてケース会議があれば参加し、情報の交換を行っています。	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		移行支援は実施していませんが、要望に応じて、支援内容の共有や情報を交換していきます。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		移行支援は実施していませんが、要望に応じて、支援内容の共有や情報を交換していきます。
	25	他の児童発達支援センター児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今年度はコロナウイルスのため、実施することが難しかったです。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今年度はコロナウイルスため人員制限があり参加できませんでした。

一の連携	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		ファイルや個別懇談時に、子どもの様子をお話しさせていただき、活動の様子を写真で伝えるなど、保護者の方と共通理解ができるように努めさせていただいております。
	29	保護者の対応力を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングとしては実施していませんが、個別に相談を受けた際には関わり方を一緒に考え、提供しています。
保護者への説明責任等	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		見学時や契約時に丁寧な説明を心がけておりますが、ご不明な点がございましたら職員にお声掛け下さい。改めて、詳しく説明させていただきます。
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○		現在、児童発達支援ガイドラインを示すことはしていませんが、児童発達支援ガイドラインに基づき作成した、児童発達支援計画内容の説明を行い、保護者の同意を得ております。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		定期的な懇談とともに送迎時に子どもの様子をお互いに伝え、保護者の方と共通理解ができるように努めさせていただいております。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		手をつなぐ育成会との交流会の場を設け、保護者にも開催の連絡をしました。
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		

	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に一度おたよりを発行し、毎月の行事をお知らせしています。	毎回の活動を連絡ノートに記録しています。
	36	個人情報の取扱いには十分注意しているか	○			
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		様子に合わせて、視覚的支援を活用して、意思の疎通や情報の伝達を行っています。	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民を招待するような活動は実施していませんが、近くのお店で買い物学習をしたり、散歩に出かけたりしています。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		非常災害計画などのマニュアルを再確認しています。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		今年度は管内一斉の防災訓練の実施はなかったが、子どもと一緒に避難時を想定した訓練をおこなっています。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		○		保護者からの聞き取りを行い、個別懇談時にも保護者に再確認を行うようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの聞き取りの元、食物アレルギーのある子どもの一覧表を作成し、職員間で共通理解できるよう掲示しております。また、おやつ提供の際には、職員間で話し合いを設けております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		現在、ヒヤリハットのような事案があった場合には、口頭で職員間で情報を共有しています。

44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	子どもの特性を知り適切な関わり方ができているか、常に職員間で話し合うように努めています。	
45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		身体拘束は行っていない。	